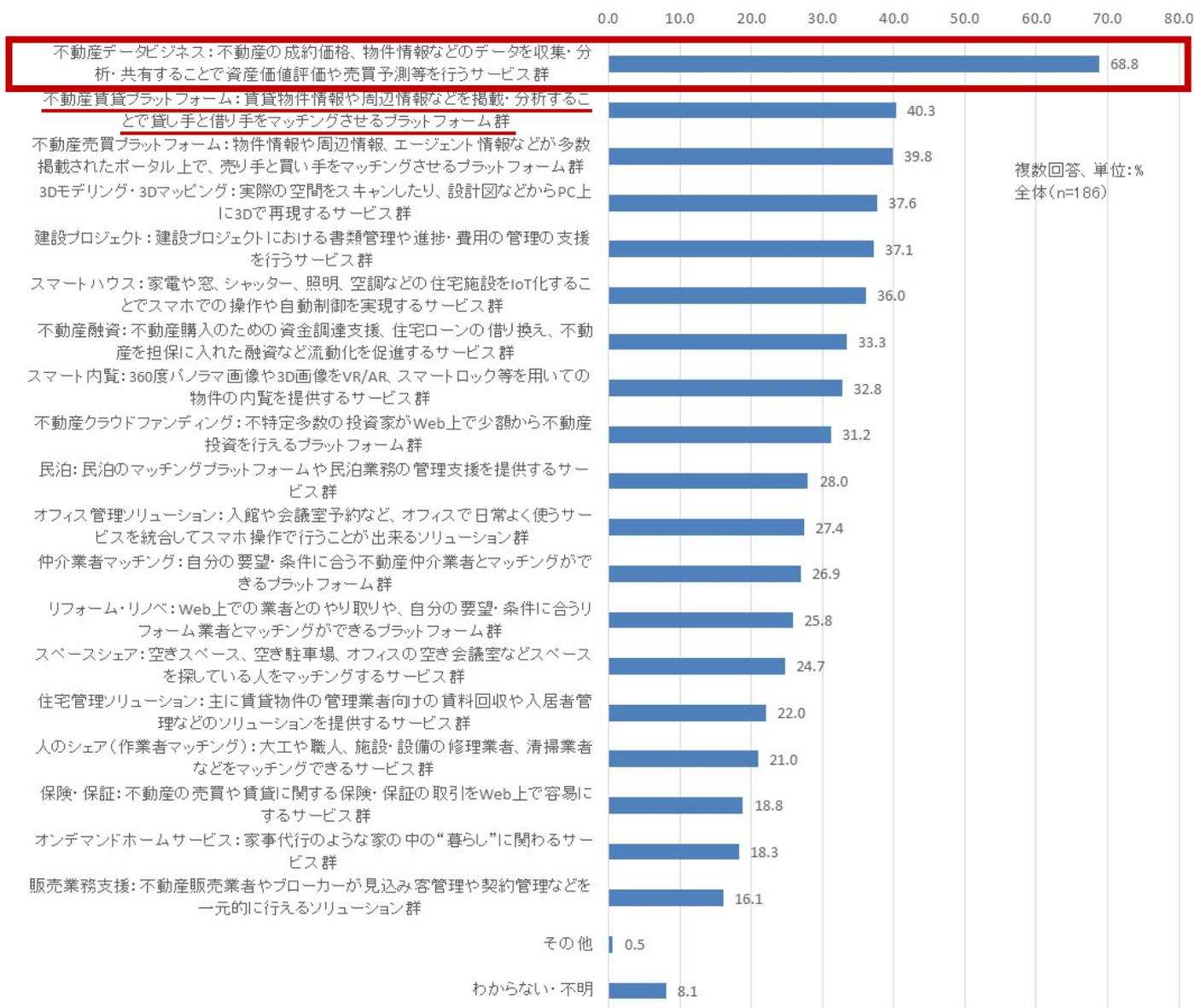


## 4. 不動産テックのサービス別の認知度・今後の有望度

### 4.1. 不動産テックのサービス別の認知度

前述の X-Tech の種類別の認知度の質問で「不動産 : 不動産テック (ReTech、または PropTech)」と回答した回答者 186 人に対して、知っている不動産テックのサービスを尋ねた。最も多いのは「不動産価格データ収集・分析: 不動産の成約価格、物件情報などのデータを収集・分析・共有することで資産価値評価や売買予測等を行うサービス群 (68.8%)」であった。続いて「不動産賃貸プラットフォーム: 賃貸物件情報や周辺情報などを掲載・分析することで貸し手と借り手をマッチングさせるプラットフォーム群 (40.3%)」であった。

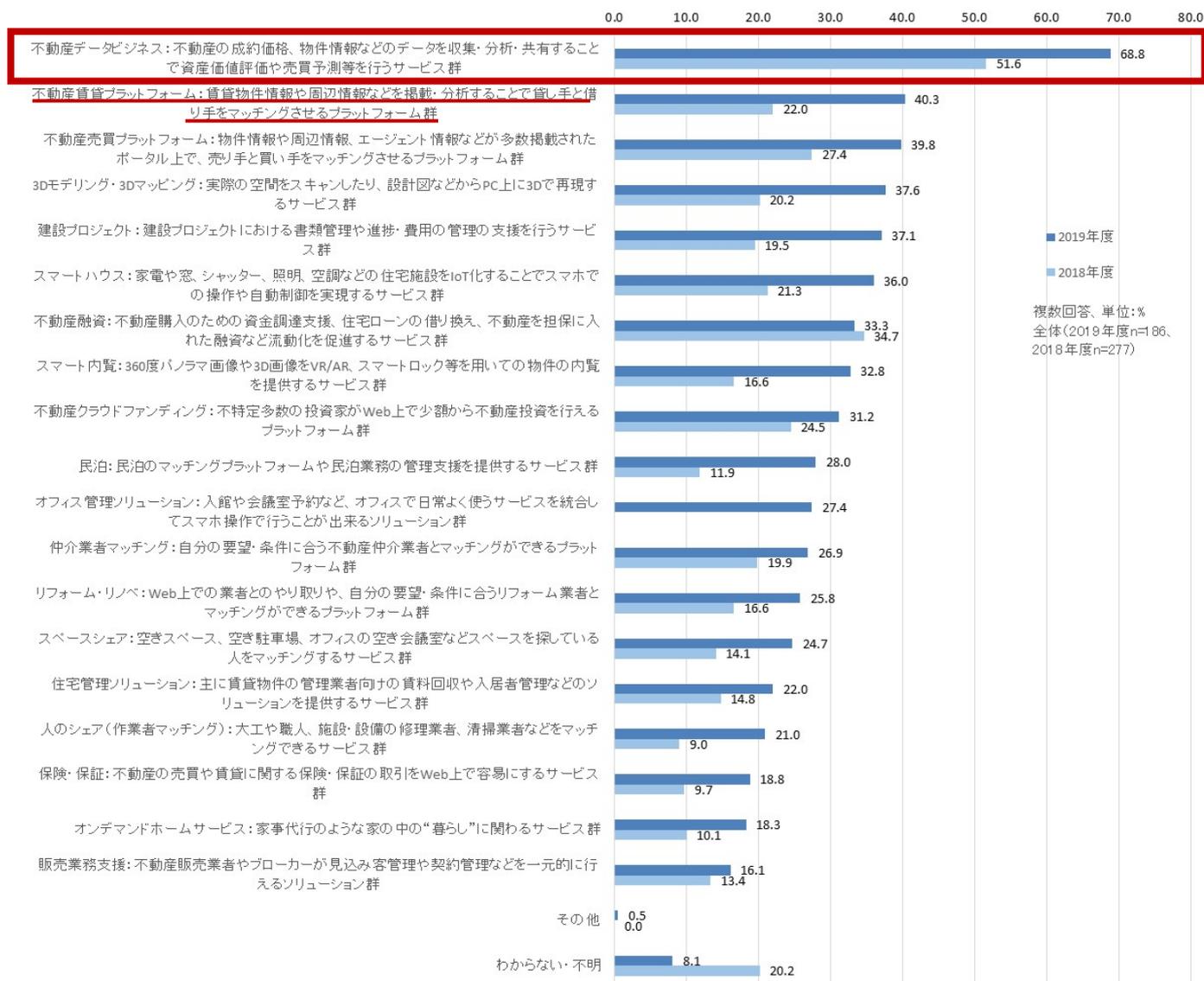
【図表 4-1a】 知っている不動産テックのサービス



続いて過去からのトレンドを把握するため、2019年度と2018年度の結果を比較する。2019年度に最も多かった「不動産データビジネス:不動産の成約価格、物件情報などのデータを収集・分析・共有することで資産価値評価や売買予測等を行うサービス群(68.8%)」は、2018年度の51.6%と比べて17.2%増加した。

また、最も差分が大きかったのは「不動産賃貸プラットフォーム:賃貸物件情報や周辺情報などを掲載・分析することで貸し手と借手手をマッチングさせるプラットフォーム群」で2018年度の22.0%から2019年度の40.3%へ18.3%増加した。

【図表 4-1b】 (2018年度との比較)知っている不動産テックのサービス



## 4.2. 今後有望な不動産テックのサービス

前述の X-Tech の種類別の認知度の質問で「不動産 :不動産テック(ReTech、または PropTech)」と回答した回答者に対して、今後有望だと考える不動産テックのサービスについて1位~3位を尋ねた。1位が最も多いのは「不動産価格データ収集・分析:不動産の成約価格、物件情報などのデータを収集・分析・共有することで資産価値評価や売買予測等を行うサービス群(1位 39.8%、2位 4.3%、3位 5.4%)」であった。

続いて、「3Dモデリング・3Dマッピング:実際の空間をスキャンしたり、設計図などからPC上に3Dで再現するサービス群(1位 11.8%、2位 18.3%、3位 3.8%)」や「建設プロジェクト:建設プロジェクトにおける書類管理や進捗・費用の管理の支援を行うサービス群(1位 8.1%、2位 10.8%、3位 17.7%)」が顕著であった。

他には、「不動産売買プラットフォーム:物件情報や周辺情報、エージェント情報などが多数掲載されたポータル上で、売り手と買い手をマッチングさせるプラットフォーム群(1位 8.1%、2位 13.4%、3位 11.3%)」や「不動産クラウドファンディング:不特定多数の投資家がWeb上で少額から不動産投資を行えるプラットフォーム群(1位 5.4%、2位 3.8%、3位 7.0%)」や「不動産賃貸プラットフォーム:賃貸物件情報や周辺情報などを掲載・分析することで貸し手と借手手をマッチングさせるプラットフォーム群(1位 4.8%、2位 10.2%、3位 9.7%)」も相対的に高く、不動産売買や不動産賃貸のプラットフォームビジネスも有望だと考えられている。

【図表 4-2】 今後有望だと考える不動産テックのサービス

